

第62回

徳島県小学校図画工作教育研究大会

令和3年度 図画工作科研究主題

豊かにかかわり つながり 自らつくりだす造形活動
— 造形的な資質・能力を高め、表現する喜びを互いに感じられる授業づくり —

令和3年 11月19日 in 小松島市立児安小学校

徳島市津田小学校 高橋 結香

提案発表の流れ

1. はじめに

- (1) 児童（第3学年）の実態

2. 授業実践を進めるにあたって

- (1) 中学年の鑑賞活動の捉え方
- (2) 研究テーマ
- (3) 仮説と手立て

3. 実践研究の実際

- (1) 本題材の概要
- (2) 結果と考察

4. おわりに

- (1) 成果と課題
- (2) 本実践を振り返って

(1) 児童（第3学年）の実態

- ・ 友達と対話をしながら自然と活動がつながる。
- ・ 友達の表現等を見て、気づきや感じ取った思いを自分の表現に取り入る。

もっと、長くつなげたら面白くなりそうやな。

いっしょにつなげてみよう。



「5月題材『ねん土ランドへようこそ』の活動の様子」

「表現すること」と「見ること」は、児童の活動の過程で**同時に起こっている**。

「見ること」を通して児童は・・・
互いの「いいな」と思う部分を共有したり、認め合ったりしている。

1 はじめに

2 授業実践を進めるにあたって

3 実践研究の実際

4 おわりに

(1) 本実践の対象である中学年の鑑賞活動の捉え方

■各学年で比較すると…

第1学年及び第2学年
造形的な**面白さや楽しさ**

自分なりの感じ方を重視

第3学年及び第4学年
造形的な**よさや面白さ**

他者と共有できるよさ

第5学年及び第6学年
造形的**よさや美しさ**

他者や社会との関わり



中学年の鑑賞活動で目指す児童の姿を…

他者との関わりを通して、互いのよさや面白さを改めて感じ、さらに新たな考えに出合うことで自分の見方や感じ方を広げられるようになる。

(3) 研究のテーマ

「友達との関わりの中で互いの『いいな』が響き合う鑑賞活動」

「4月題材『絵の具と水のハーモニー』」



「7月題材『みんなでオンステージ』」



児童の思いに寄り添い、
共感的に受け止めながら、
「いいな」と思うことを
児童に伝えていく。

互いの「いいな」が響き合うために…

児童に、温かい雰囲気の中で、感じ取った「形」や「色」、「イメージ」等を伝え合うことで、さまざまな「いいな」に出合わせたい。

(3) 仮説と手立て

■ 仮説

仮説① …教師が児童の思いに共感的に受け止めることで教師が児童の思いに共感的に受け止めることで、児童は自分の見方や感じ方に自信をもち、友達との関わりをさらに生み出すのではないか。



仮説② …互いのよさや面白さに気付くことで児童は、友達との関わりの中で互いのよさや面白さに気付く、新たな見方や感じ方を広げることができるのではないか。

■ 手立て

手立て① …指導のポイントを明確にする
事前に児童の活動の姿を想定し、指導のポイントを明確にする。

手立て② …対話の中で指導のねらいを引き出す
児童との対話の中で指導のねらいを引き出し、互いの「いいな」が響き合う、温かい学びの雰囲気をつくりだす。

手立て③ …教師は意図をもって児童へ働きかける
児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ、全体へ広げながら、児童の新たな見方や感じ方を広げる。

(1) 本題材の概要

題材名「色合い ひびき合い」 (B鑑賞)

(日本文教出版3・4年下)

画用紙（6cm四方形程度）の上に指先で水彩絵の具を混ぜた瞬間の色の变化を捉えたり、

できた色カードを並べたときに見える色の感じ

友達との関わりの中で
互いの「いいな」響き合う
鑑賞活動の基となる



資質

題材の目標

知識

指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、明るさなどが分かる。

思考力・判断力・表現力等

色や形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を広げる。

学びに向かう力、人間性

進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組み合わせや、変わっていく様子の面白さを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

手立て① 事前に児童の活動の姿を想定し指導のポイントを明確にする

(2) 結果と考察

評価規準の内容を基にして児童の姿を**具体的な姿へと変換**しながら、評価シートを作成し、指導のポイントを明確にする。

資質・能力	評価規準
知識	指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、明るさなどが分かっている。
思考力・判断力・表現力	色や形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を広げている。
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組み合わせや、変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。

手立て① 事前に児童の活動の姿を想定し指導のポイントを明確にする

(2) 結果と考察

評価規準の内容を基にして児童の姿を**具体的な姿へと変換**しながら、評価シートを作成し、指導のポイントを明確にする。

	評価規準	評価規準の具体例	想定される具体的な児童の姿	想定される児童に対する教師の働きかけ	題材を手渡す上での留意点
知識	指で絵の具を混ぜるときの感覚や行為を通して、色の感じ、形の感じ、それらの組み合わせによる感じ、明るさなどが分かっている。	<ul style="list-style-type: none"> 色の変化が分かっている。 色の組み合わせによって色の感じが異なることが分かっている。 指の動かし方によって、色がかすれたり、色がにじんだり、広がったりと色合いが変化することが分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> わあ。色が少しずつ変わった。 さっきと違う色を合わせたら色の感じが違う。 同じような混ぜ方でも色の組み合わせ方によって色合いが違うことが分かる。 青と白を組み合わせ指をくるくる動かして混ぜると、渦みたい。 赤と黄をまぜると炎みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の行為を言葉しながら拾い上げて全体へ広げる。 全体へ広げる言葉が鑑賞の視点へとつながることを意識して、児童のどのような行為を拾い出して行くのかを吟味する。 「○○みたい」というイメージから、「○○みたいな色の感じ」が分かっているのか、色の感じから「○○みたい」とイメージしているのか。児童が「イメージをもつ」ことに対して、どのように思考しているのかを見取る。 	* 児童が色の感じ、形の感じなどから、「イメージをもつ」ことが想定される。児童がそのイメージをもって、「○○をつくらう」と発想・構想する活動にならないように留意する。そうすると、形を何かに見立てて描き出そうとしてしまう。
思考力・判断力・表現力	色や形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を広げている。	<p>イメージをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の感じや形の感じをよく見て、自分のイメージをもつ。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> 1枚の色カードをじっくりと見ながら、色がいくつも広がっていると見方や感じ方を広げている。 色カードを並べて、色の感じや形の感じの面白さを感じ取っている。 	<p>イメージをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> へびみたい。海みたい。波みたい。炎みたい。虹みたい。 絵の具を重ねて塗ったら虹みたいになった。 不思議な色に見えるなあ。 色の混じり方が波みたいな感じがする。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> よく見ると何種類かの色が重なって見えることを感じ取っている。 色が乾くと、ひびができてそれがまたいい感じになった。 これまでの色カードをじっくり見たり、並べたりしている。 同じような色合いの色カードを並べてみたよ。 ○○さんの色カードって…みたいで面白いね。 	<ul style="list-style-type: none"> 色の混じり方、色の感じ、形の感じなどを基に、自分のイメージをもつ。 →児童の「○○みたい」というイメージをつぶやきに対して、「どこからそう見えるの?」「どこからどんなふう感じるの?」と問いかけることで、児童が色カードの何に注目しているのかを見取る。 色カード1枚と何枚か並べたときの感じ方の違いを問いかける。 実際に台紙の上に1枚の色カードを置いたときと、数枚の色カードを並べて見せることで感じ方の違いを問いかける。 友達や他のグループがどのようなことを考えて色カードを並べているのかを見に行くように声をかけたり、電子黒板に画像や動画を見せたりすることで、友達の行為や活動のよさや面白さを共有できるようにする。→見方や感じ方を広げる。 友達が並べた色カードを見て、どこからどんなことを感じるのかなどを伝え合う活動を取り入れることで、児童の見方や感じ方を広げられるようにする。 自分にとってのとおきの1枚の色カードを紹介する活動を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> * 特に演示においては、絵の具を指で混ぜることによってできた形や色のよさや面白さを味わうことが大切である。 * 指の動きのパターンをいくつか提示する。 * ぐるぐる、すーすー、ちよんちよん、つんつん、てんてん、シューパッパッのように動きを音にしてみることで、実際に活動に入ったとき、児童が動きを意識できるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組み合わせや、変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> 色の組み合わせを変えながら絵の具を混ぜる楽しさを味わっている。 色の組み合わせ方や混ぜ方によってできる色の感じ、形の感じが異なるよさや面白さが分かり、もっと違う方法を見つけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> わあ、自分だけの色カードがたくさんできたよ。この色カードを並べてみると面白いかなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の行為や活動を適宜取り上げ、活動を提案することで、児童の意欲を引き出す。 自分の色カードのよさや面白さを交流できる活動を設定し、互いの「いいな」を共有したり、認め合ったりできるようにする。 	

手立て① 事前に児童の活動の姿を想定し指導のポイントを明確にする

(2) 結果と考察

評価シート

具体的な児童のつぶやき・活動を記述する。

	評価規準	評価規準の具体例	想定される具体的な児童の姿	想定される児童に対する教師の働きかけ
思考力・表現力・判断力	色や形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、徐々に変化する色の様子などの造形的なよさや面白さなどについて、感じ取ったり考えたりしながら、自分の見方や感じ方を広げている。	<p>イメージをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 色の感じや形の感じをよく見て、自分のイメージをもつ。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> 1枚の色カードをじっくりと見ながら、色がいくつも広がっていると見方や感じ方を広げている。 色カードを並べて、色の感じや形の感じの面白さを感じ取っている。 	<p>イメージをもつ</p> <p>へびみたい。海みたい。波みたい。炎みたい。虹みたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵の具を重ねて塗ったら虹みたいになった。 不思議な色に見えるなあ。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> よく見ると何種類かの色が重なって見えることを感じ取っている。 	<p>○色の混じり方、色の感じ、形の感じなどを基に、自分のイメージをもつ。</p> <p>→児童の「○○みたい」というイメージをつぶやきに対して、「どこからそう見えるの?」「どこからどんなふうを感じるの?」と問いかけることで、児童が色カードの何に注目しているのかを見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 色カード1枚と何枚か並べたときの感じ方の違いを問いかける。



指導のポイントを整理する。

手立て① 事前に児童の活動の姿を想定し指導のポイントを明確にする

(2) 結果と考察

					題材を手渡す上での留意点
主體的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい進んで指で絵の具を混ぜながら、色や形の組み合わせや、変わっていく様子の面白さを味わう学習活動に取り組もうとしている。	色の組み合わせ方を変えながら絵の具を混ぜる楽しさを味わっている。 色の組み合わせ方や混ぜ方によってできる色の組み合わせ方が分かってきている。	わあ、自分だけの色カードがたくさんできたよ。この色カードを並べてみると面白いなあ。	児童の行為や活動を適宜取り上げ、活動を提案することで、児童の意欲を引き出す。 自分の色カードのよさや面白さを交流できる活動を設定し、互いの「いいな」を共有したり、認め合ったりできるようにする。	<p>* 児童が色の感じ、形の感じなどから、「イメージをもつ」ことが想定される。児童がそのイメージをもって、「○○をつくろう」と発想・構想する活動にならないように留意する。そうすると、形を何かに見立てて描き出そうとしてしまう。</p> <p>* 特に演示においては、絵の具を指で混ぜることによってできた形や色のよさや面白さを味わうことが大切である。</p> <p>* 指の動きのパターンをいくつか提示する。</p> <p>* ぐるぐる、すーすー、ちよんちよん、つんつん、てんてん、シューパッパッのように動きを音にしてみることで、実際に活動に入ったとき、児童が動きを意識できるようにする。</p>

指導のポイントを整理
 児童が、形や色の感じ基にイメージしたことから、**発想・構想し、具体的なものを描き出そうとすることがないよう導入を工夫する。**



(2) 結果と考察

じゃあ、最初は指を「ぐるぐるぐる～」っと。



うわあ。気持ちよさそう。

指をぐるぐる動かすとどんなふうに色が混ざるんだろう？

色んな形をつくってみたい。

今、指をぐるぐるってしたから…。

ツンツン。

ツンツン。それいいね。

指を「ツンツン」。

さっきと色の混ざり方が違う。

自分だけの模様みたい。



じゃあ、次は…。

黄色は？

黄色と青色を混ぜたら、どんなふうに色が混ざるかなあ。

うわあ。きれい。

色が何色もできた。

2色しか使っていないのに、たくさん色ができるんだね。

指の動かし方変えてみたよ。できた色の感じはどう？さっきと同じかな？

* 水色の吹き出し…導入における教師の主な発話内容の一部

(2) 結果と考察

じゃあ、最初は指を「ぐるぐるぐる〜」っと。



指をぐるぐる動かすと
どんなふうに色が混ざ
るんだろう？

じゃあ、
次は…。



黄色と青色を混ぜたら、どんな
ふうにか色が混ざるかなあ。

2色しか使っていないのに、
たくさん色ができるんだね。

指の動かし方変えてみたよ。
できた色の感じはどう？さっきと
同じかな？

今、指をぐるぐるってしたか
ら…。



指を「ツンツ
ン」。

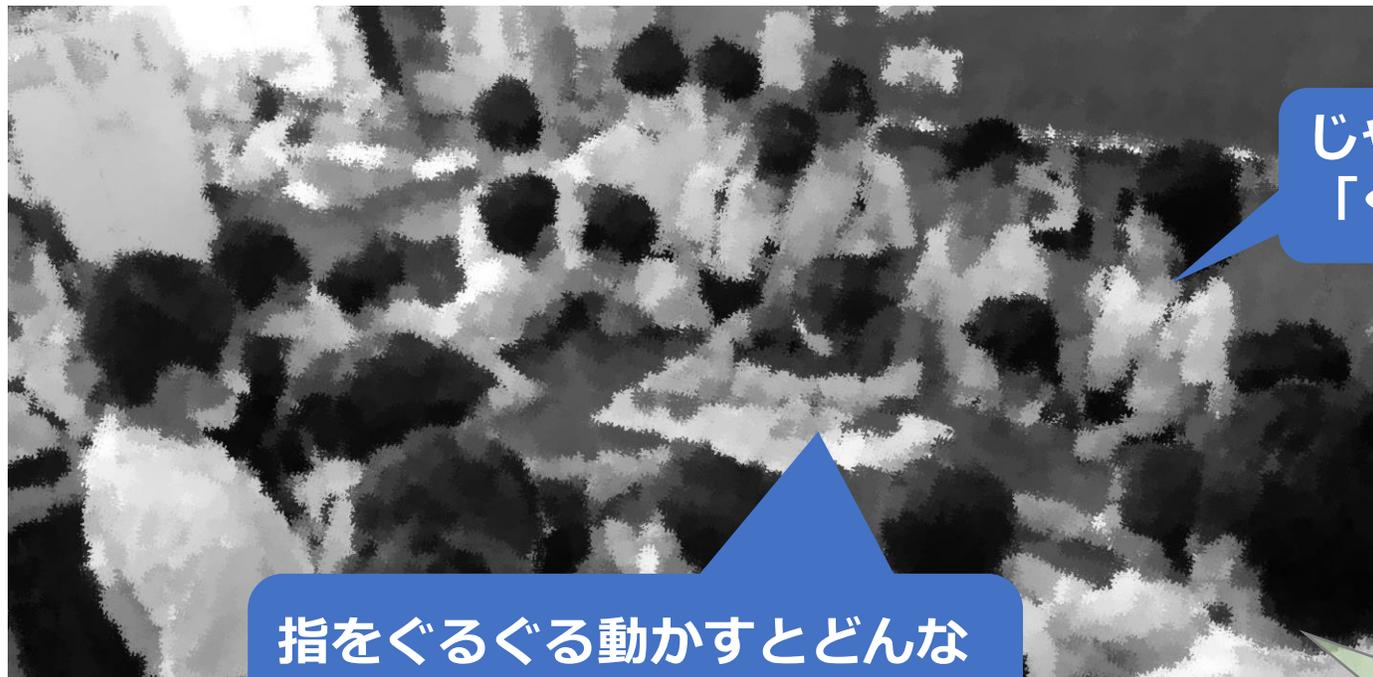
ツンツン。
それいいね。



どのような意図をもって、つぶやいたり、問いかけたりしながら、指導のねらいを引き出そうとしていたのか？

*濃い青色の吹き出し…「指導のねらい」を引き出そうとしている発話内容

手立て②児童との対話の中で指導のねらいを示す



指の動きを
言葉で

じゃあ、最初は指を
「ぐるぐるぐる〜」っと。

★指の動かし方を考えながら活動することに気付くことができるようにする。

指をぐるぐる動かすとどんな
ふうの色が混ざるんだろう？

★指の動かし方によって、形や色が変わること
に気付くことができるようにする。

描き出す
可能性



色んな形をつ
くってみたい。

発想・構想（イメージを基に表したいもの・
ことを思い付くこと）は、題材のねらいでは
ない。

手立て②児童との対話の中で指導のねらいを示す

★「形をつくりだす思考」から「指を動かす思考」へ促すため

ツンツン。

共感的に
受け止める。

ツンツン。
それいいね。



今、指をぐるぐるって
したから…。

指を「ツンツン」。

さっきと混ざり
方が違う。

自分だけの
模様みたい。

★色が混ざる瞬間の面白さを味わっている様子

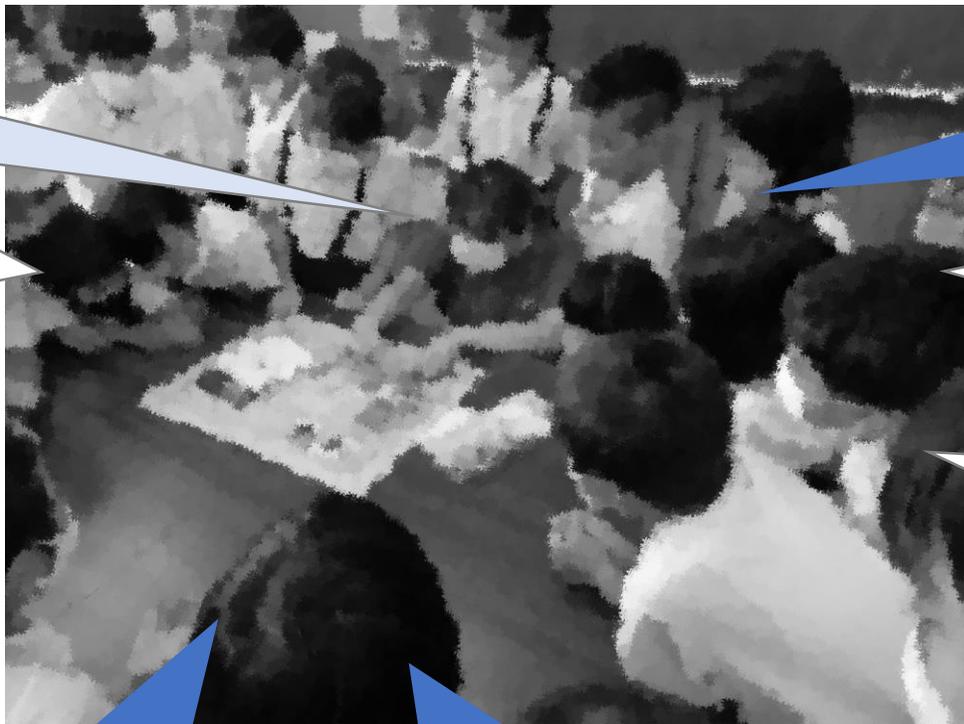
★…教師の意図

★…教師の見取り

手立て②児童との対話の中で指導のねらいを示す

じゃあ、次は…。

黄色は？



黄色と青色を混ぜたら、どんなふうの色が混ざるかなあ。

うわあ。きれい。

色が何色もできた。

2色しか使っていないのに、たくさん色ができるんだね。

指の動かし方変えてみたよ。できた色の感じはどう？ さっきと同じかな？

★今回の活動で注目して欲しい造形的な視点に焦点をあてながら繰り返し問いかけている。

* 中学年で捉える造形的な視点
「形や色の感じ、それらの組み合わせによる感じ」

手立て②児童との対話の中で指導のねらいを示す



- ★自分が色づくりをしているかのように友達の活動を様子を見て、「いいな」と思うことを見付けている様子
- ★友達の活動の様子を見ることを通して、「自分ならこうする」と活動への意欲を喚起づけようとしている。



導入の様子をご覧ください。

手立て②児童との対話の中で指導のねらいを示す

(2) 結果と考察



じゃあ、最初は指を「ぐるぐるぐる〜」っと。

指の動きを言葉で

★指の動かし方を考えながら活動することに気付くことができるようにする。

うわあ。気持ちよさそう。

指をぐるぐる動かすとどんなふうに色が混ざるんだろう？

描き出す可能性

★指の動かし方によって、形や色が変わることに気付くことができるようにする。

色んな形をつくってみたい。



今、指をぐるぐるってしてから…。

★「形をつくりだす思考」から「指を動かす思考」へ促そうとしている。

指を「ツンツン」。

ツンツン。

ツンツン。それいいね。

共感的に受け止める。

さっきと混ぜり方が違う。

自分だけの模様みたい。

★色が混ざる瞬間の面白さを味わっている様子



じゃあ、次は…。

黄色は？

黄色と青色を混ぜたら、どんなふうに色が混ざるかなあ。

うわあ。きれい。

色が何色もできた。

2色しか使っていないのに、たくさん色ができるんだね。

指の動かし方変えてみたよ。できた色の感じはどう？ さっきと同じかな？

★今回の活動で注目して欲しい造形的な視点に焦点をあてながら繰り返し問いかけている。



燃えてるみたい。

明るい感じがする。

★自分が色づくりをしているかのように友達の活動を様子を見て、「いいな」ということを見付けている様子



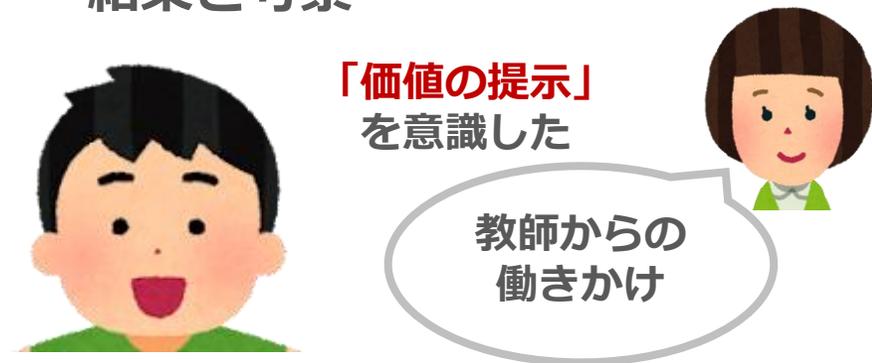
- ・児童は活動への見通しをもっている。
- ・教師は互いの「いいな」を響き合わせる学び合う雰囲気をつくりだす。

★…教師の意図

★…教師の見取り

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察



活動の展開では・・・

- ・ 自分の見方や感じ方に自信がもつ。
- ・ 友達との関わりを生み出す。
- ・ 見方や感じ方がさらに広がる。

「価値の提示」とは・・・
児童の行為や活動、作品に対して評価すること。

名達英詔による「教師の発話内容に関する『内容項目』の指標」2017年

項目	定義	具体例	項目	定義	具体例
指名	個人名をあげて発言を求める	〇〇くん、教えて。	選択の投げかけ	選択肢を示して考えさせる	もし足りなくなったらこの材料を使ってもいいです。/いいのかな? だめかな>
行動の指示・促し	何らかの行動や意識化を指図したり促したりする	こちらを見てください。/さあ椅子に座ってください。	自己開示・感情の表出	思わず自分の気持ち等を表す。	なんてこった。/先生だって悩むぞ。
合図・カウント	活動の始まりのタイミングを伝えるりする	いちにのさん/せーの	受容	子どもの言葉や表現を受けとめる	そうだよね。/なるほどね。
表現への価値の提示	子どもの表現に対して教師の評価を示す	綺麗な色になりましたね。	対応・展開の変更	子どもの言葉等を受けて想定していた対応や流れを変更する	じゃあこういうやり方もあるぞ。/あ、そうしよう。
取組への価値の提示	子どもの表現活動における取組に対して教師の評価を示す	いろいろなつくり方を試しましたね。	話題の集約	それまでの複数の発言をとりまとめる	水は溢れるということだ。/みんなの意見を集めるとこういうことかな?
状況・既習の確認	活動の進み具合、理解度、過去の学習内容等確かめる。	それはどうなるのかな。/なぜここをつくったの。	表現との関連付け	実際に表現や材料を通して伝える	こうやって糊付けするとカチカチになるの。
過去の提示	以前の子どもの状態を伝える	前は色水づくりに夢中でしたね。	様式のラベリング	一般的な造形知識について、その言葉を伝える	それを版画と言います。
変容の提示	以前の状態から成長した内容を伝える	〇〇くんもノコギリの使い方に慣れてきたね。	日常生活との関連付け	日常生活とのつながりを伝える	この前学芸会で使ったよね。
予測の提示	予定や仮定の内容を伝える	今日は絵の具と画用紙を使います。/そこに水を入れると滲むかもね。	その他	上記の項目にいずれにも当たらない	外に人がいるなあ。/隣の先生に伝えてきて。
思考の促し	表現や取組について問いかけ考えさせる	そこを折るとどうなるのかな。/あの作業を最初にやることに意味ってあるんですか。			

* 名達英詔 (NADACHI Hideaki)
北海道教育大学旭川校 (2017年当時)
「図画工作科授業における教師の発話分析のための指標づくり」より

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

名達による「教師の発話内容に関する『内容項目』の指標」

項目	定義	具体例	項目	定義	具体例
指名	個人名をあげて発言を求める	〇〇くん、教えて。	選択の投げかけ	選択肢を示して考えさせる	もし足りなくなったらこの材料を使ってもいいです。/いいのかな?だめかな>
行動の指示・促し	何らかの行動や意識化を指図したり促したりする	こちらを見てください。/さあ椅子に座ってください。	自己開示・感情の表出	思わず自分の気持ち等を表す。	なんてこった。/先生だって悩むぞ。
合図・カウント	活動の始まりのタイミングを伝えたりする	いちにのさん/せーの	受容	子どもの言葉や表現を受けとめる	そうだよね。/なるほどね。
表現への価値の提示	子どもの表現に対して教師の評価を示す	綺麗な色になりましたね。	対応・展開の変更	子どもの言葉等を受けて想定していた対応や流れを変更する	じゃあこういうやり方もあるぞ。/あ、そうしよう。
取組への価値の提示	子どもの表現活動における取組に対して教師の評価を示す	いろいろなつくり方を試しましたね。	話題の集約	それまでの複数の発言をとりまとめる	水は溢れるということだ。/みんなの意見を集めるとこういうことかな?
状況・既習の確認	活動の進み具合、理解度、過去の学習内容等を確認する。	それはどうなるのかな。/なぜここをつくったの。	表現との関連付け	実際に表現や材料を通して伝える	こうやって糊付けするとカチカチになるの。
過去の提示	以前の子どもの状態を伝える	前は色水づくりに夢中でしたね。	様式のラベリング	一般的な造形知識について、その言葉を伝える	それを版画と言います。
変容の提示	以前の状態から成長した内容を伝える	〇〇くんもノコギリの使い方に慣れてきたね。	日常生活との関連付け	日常生活とのつながりを伝える	この前学芸会で使ったよね。
予測の提示	予定や仮定の内容を伝える	今日は絵の具と画用紙を使います。/そこに水を入れると滲むかもね。	その他	上記の項目にいずれにも当たらない	外に人がいるなあ。/隣の先生に伝えてきて。
思考の促し	表現や取組について問いかけ考えさせる	そこを折るとどうなるのかな。/あの作業を最初にやることに意味ってあるんですか。	見方や感じ方への価値の提示	子どもの表現や取組における見方や感じ方に対して教師の評価を示す	おもしろい見方をしているね。/そんなふうに見えたんだね。/いろいろと見方や感じ方が広がってるね。



わあ。すごい。不思議なまざり方やね。どうやったらできたの？



少しずつ青の色水を入れたら、「不思議な色」になった。もっと、つくってみたい。



色んな色水を集めてるね。



色んな色水を集めたら、カラフルな魚ができたよ。



題材「カラフル色水」(第1学年)

「価値の提示」の効果
 教師が児童の思考を促しながら、児童の行為や活動に対して評価を行うことにより、**児童が自らの表現や活動に「意味や価値を見出す」というある一定の効果を得られた。**
 (昨年度の研究より)

* 「意味や価値を見出す」とは
 自分の行為や活動に対して、不思議に感じたり、面白がったりしながら活動を進めている姿など。

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

「鑑賞に関わる教師の発話内容に関する『内容項目』の指標」

項目	定義	具体例
見方や感じ方への価値の提示	子どもの表現や取組における見方や感じ方に対して教師の評価を示す	おもしろい見方をしているね。 / そんなふうに見えたんだね。 / いろいろと見方や感じ方が広がってるね。

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

「本題材の指導と評価の計画」

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価方法				備考	
		知	技	思	態		
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな絵の具の混ぜ方を試しながら、色が混ざる一瞬の美しさを捉え、自分の色カードをつくる。 紙の上で混じり合った絵の具の色合いなどから、よさや面白さを見つける。 	◎ 観察 対話 色カード				<p>◎ 観察 対話</p>	<p>本題材は、色や形の感じなどに着目して鑑賞することに重点を置くので、1時間目に「知識」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。</p> <p>1時間目の「思考・判断力・表現力（鑑賞）」については、記録に残す評価しない</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> つくった色カードを並べたり、組み合わせたりしながら、色や形のよさや面白さなどから感じ取ことを友達と伝え合い、見方や感じ方を広げる。 			◎ 観察 対話 色カード	◎ 観察 対話 ワークシート	<p>2時間目は、「思考・判断力・表現力（鑑賞）」の視点で児童の学習状況を把握し、記録に残す。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。</p>	

色づくり

表現への
価値の提示

色カードを
並べる

取組への
価値の提示

見方や感じ方への
価値の提示



手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

色づくり



表現への
価値の提示

同じような塗り方だけど、
色の組み合わせによって、
色の感じが全く違うね。

お、こっちは
くるくる。

こっちは、点々。



同じグループの児童

先生。私も同じような塗り方
をやってみたら、水っぽい感
じになったよ。



他の児童への価値の提示を聞くことで

- ・ 自らの行為や活動のよさや面白さの実感
- ・ 自信をもって教師に伝えてくれる姿
- ・ 友達との交流へと広げるきっかけ

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

同じグループの児童



じゃあ、この2枚の色カードを並べて見ると、どんなふうに感じる？

こっちは、「水っぽい」って感じたんだよね。じゃあ、こっちはどんな感じがする？

★1枚の色カードをじっくり見るときと、比べて見るときとは、見える色合いの印象が異なることに気付くことができるよう問いかけ、児童の見方や感じ方が広げようとしている。

ん……炎かなあ。

どこから、そう思ったの？

★自分の見方や感じ方を造形的な視点を根拠に考えることができるように促そうとしている。

先生。私も同じような塗り方をやってみたら、水っぽい感じになったよ。

見方や感じ方への価値の提示

塗り方は同じなのに、友達の色合いとは違って「水っぽい」って感じたんだね。色の違いを感じて見えてるね。

造形的な視点で捉える = 形や色を見る



造形的な視点をもつことは、自分のイメージに対して「意味や価値を見出す」ことにつながり、自分の見方や感じ方のよさや面白さに自信をもつことになる。



手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

色カードを並べる

グループ活動の様子



なるほど。同じような色でもよく見ると違いがあるんだね。よく気付いたね。面白い！

同じ色合いごとに並べるとどんな感じがする？

なんかジェットコースターみたい。

どこからそう思ったの？

お、これはどんなふうに並べてるの？

どうしてそんなふうに並べてるの？

同じような色のカードを集めて並べてる。

よく似た色があるけど、よく見るとちょっとずつ違っているから…。

え、例えば、ここから出発して、ここは**暗い感じの色**が集まっているから**トンネル**として、で、一瞬明るくなって、『わー。』ってなった。

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

グループ活動の様子



よく似た色があるけど、よく見るとちょっとずつ違っているから…。

★児童は少しずつ変化する色カードの色合いの違いを見つけている。

どうしてそんなふう
に並べてるの？

★児童の思考を促し、取組に対する「意味や価値」を見出すことができるようにする。

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

グループ活動の様子



なるほど。同じような色でもよく見ると違いがあるんだね。よく気付いたね。面白い！

取組への
価値付の提示

見方や感じ方への
価値付の提示

同じ色合いごとに並べるとどんな感じがする？

★色合いごとに並べることで、児童がどのようなイメージをもっているのか状況を確認している。

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

グループ活動の様子



なんかジェットコースターみたい。

どこからそう思ったの？

★自分の見方や感じ方を造形的な視点を根拠に考えることができるように促そうとしている。

え、例えば、ここから出発して、ここは**暗い感じの色**が集まっているから**トンネル**として、で、一瞬明るくなって『わー。』ってなった。

★色の感じを基に自分のイメージをもち、自分なりに意味や価値を見出している。



手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察



★他のグループの「いいな」と思うことを自分たちの活動にも取り入れている様子

手立て③ 児童の活動等に教師が意図をもって働きかけ全体へ広げる

(2) 結果と考察

色カードを並べる

グループ活動の様子



お、これはどんなふうに並べてるの？

同じような色のカードを集めて並べてる。

どうしてそんなふうに並べてるの？

よく似た色があるけど、よく見るとちょっとずつ違っているから…。

★児童は少しずつ変化する色カードの色合いの違いを見つけている。

なるほど。同じような色でもよく見ると違いがあるんだね。よく気付いたね。面白い！

同じ色合いごとに並べるとどんな感じがする？

なんかジェットコースターみたい。

どこからそう思ったの？

え、例えば、ここから出発して、ここは**暗い感じの色**が集まっているから**トンネル**として、で、一瞬明るくなって、『わー。』ってなった。

★色の感じを基に自分のイメージをもち、自分なりに意味や価値を見出している。

取組への
価値付の提示

見方や感じ方への
価値付の提示

★色合いごとに並べることで、児童がどのようなイメージをもっているのか状況を確認している。

★自分の見方や感じ方を造形的な視点を根拠に考えることができるように促そうとしている。



教師が意図をもって、問いかけることで、児童は、自分の思いや考え、感じたことを整理し、自分なりの「意味や価値」を見出すことができ、見方や感じ方を広げることができた。

振り返りシートより

(2) 結果と考察

「にじいろイン」

・ここが「いいな」と思うんだ！

にじいろのあめが
かっているようにみえ
るところが、いいなと
思う



★偶然できた形や色から、自分のイメージをもち、心の中で情景を思い浮かべ、意味や価値を見出している。

「ふしぎな世界の空」

・ここが「いいな」と思うんだ！

ほかにはないまざりぐあい
だし、白をいれたことにより、いろ
んな色ができた。



★他の色カードをと見比べることによって、お気に入りの色カードのよさや面白さを感じ取っている。

「きれいびんご」

・ここが「いいな」と思うんだ！

ほやあめや水いろやあい
いろなど、かいにびんごで
きれいだから。



友達の色カード



★友達の活動の「いいな」ということを自分の表現に取り入れ、自分なりの「いいな」を見つけている。

- ・自分がつくりだした形や色のよさや面白さを感じる。
- ・自分のイメージや活動に対して「意味や価値」をつくりだしたりしながら、自分の見方や感じ方を広げている。



(1) 成果と課題

指導すべき内容が明確になったことで、児童が自分の見方や感じ方を広げることができるよう、指導のねらいを意識して、働きかけることができたことは大きな成果である。

学級全体で、互いの「いいな」が響き合う学び合いをくつくりだすための学習の展開の工夫についての課題が見られた。

(2) 本実践を振り返って

自分の「いいな」が認められているからこそ、友達の「いいな」を認め、互いに共有することができる。



温かい雰囲気の中で、児童が自分の思いや願いを「形」「色」「イメージ」を基にして表現したり、伝え合ったりしながら…

“新しい自分”に出会える 図画工作科

おお、すごい。

これ、いいなあ。

これ、
いいでしょ。

面白い形が
できた。

おっ、いい感じ。

ご清聴、ありがとうございました。